

## e-ライブラリを使用した家庭学習の実践

校種	中学校	活用場面	家庭学習
活用できる I C T機器	PC・タブレット端末	活用する アプリ等	e-ライブラリ
家庭学習において I C Tを活用しようとした動機			活用の様子・児童生徒の声等
<p>本校では、毎週金曜日に『フライデー』と称して、5教科が交代制で学習課題を出している。課題の出し方は様々であるが、教科によっては導入された学習者用端末内にある「e-ライブラリ」を用いて課題を出している。</p>			<p>タブレット端末という真新しさから、導入当初は進んで活用しようとする生徒が目立った。生徒からの感想は「すぐに結果がわかるから、勉強しやすい。」、「複数の教科が一つのアプリできるのがいい。」、「全国の入試問題にチャレンジできるのが嬉しい。」といった意見が出た。また、勉強するたびに成長していくイラストを学習の励みにしている生徒もいた。保護者からは「臨時休業中に勉強するツールがあって良かった。」などの意見が出た。</p>
<p>具体的な課題の出し方・回収及び確認方法</p>			
<p>教師アカウントでログインし、教科・出題範囲・難易度・回答期限を選択。生徒は、期限内にログインし、問題に取り組む。回答が即座に表示されるため、添削の必要はなく、間違えた問題には再度、取り組めるようになっている。</p>			
<p>成果・押さえるポイント</p>			
<p>結果が即座に表れるため、効率的に学習に取り組めるようになった。教師はより具体的に生徒の学習状況を確認することができるため、学習の助言がしやすくなった。また、学習を進めるほどA Iが学習し、生徒一人一人に合った学習課題を選んでくれる。また、3年生になったときに受験勉強で重点的に学習が必要なところを選んでくれるところがメリットである。課題を出す場合の押さえるポイントとしては、期間の設定が重要となってくる。期限が無くても学習に取り組む生徒はいるが、一定の期限がある方が取り組む生徒が多い。</p>			

